

エンテロウイルス レファレンスセンター報告

福島県衛生研究所	(北海道・東北・新潟)
神奈川県衛生研究所	(関東・甲信・静)
愛知県衛生研究所	(東海・北陸)
大阪府立公衆衛生研究所	(近畿)
愛媛県立衛生環境研究所	(中国・四国)
福岡県保健環境研究所	(九州)

内容

- 2015-16シーズンのエンテロ検出状況
- H27(2015)年度感染症流行予測調査事業ポリオ環境水調査による結果サマリー(情報提供)
- ポリオウイルス封じ込めについて
- その他

平成28年度「地方衛生研究所における病原微生物検査に対する外部精度管理の導入と継続的实施に必要な事業体制の構築に関する研究」皆川班について、エンテロウイルスに関わる研究計画について情報提供(岩手県環境保健研究センター高橋先生より)

エンテロウイルスレファレンスセンター業務 (H27年度実績)

抗血清分与	延べ14衛研(65種類)
細胞分与	6衛研(RD-A:4衛研、L20B:5衛研)

エンテロウイルス抗血清EP95*は各ブロックへ依頼ください。
その他の単味抗血清はウイルス二部へ照会ください。

RD-A細胞、L20B細胞は分与可能です。

*EP95とは、1995年にエンテロウイルスレファレンス支部と共同で作成したプール抗血清。
国内で流行した代表的な血清型を含む。
「無菌性髄膜炎病原体検査マニュアル」に使い方など詳細を記載

EV71,CA16,CA6の検出数(2000-2016年24週まで)

NESIDデータより作成
2016.07.11アクセス

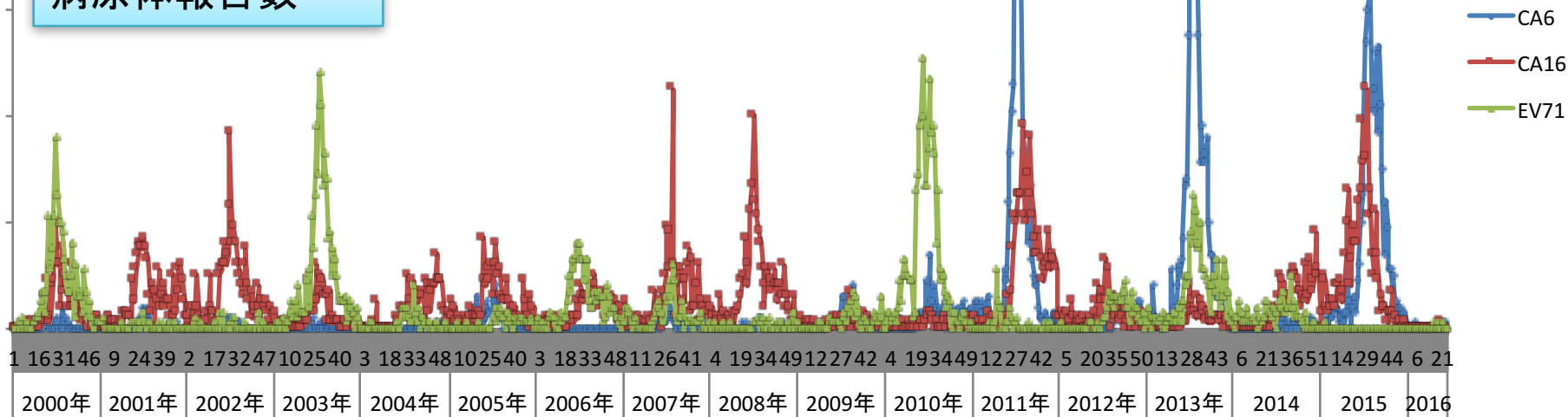
スペインでEV71流行

<http://ecdc.europa.eu/en/publications/Publications/Communicable-disease-threats-report-4-june-2016.pdf>

台湾でもEV71感染例増加

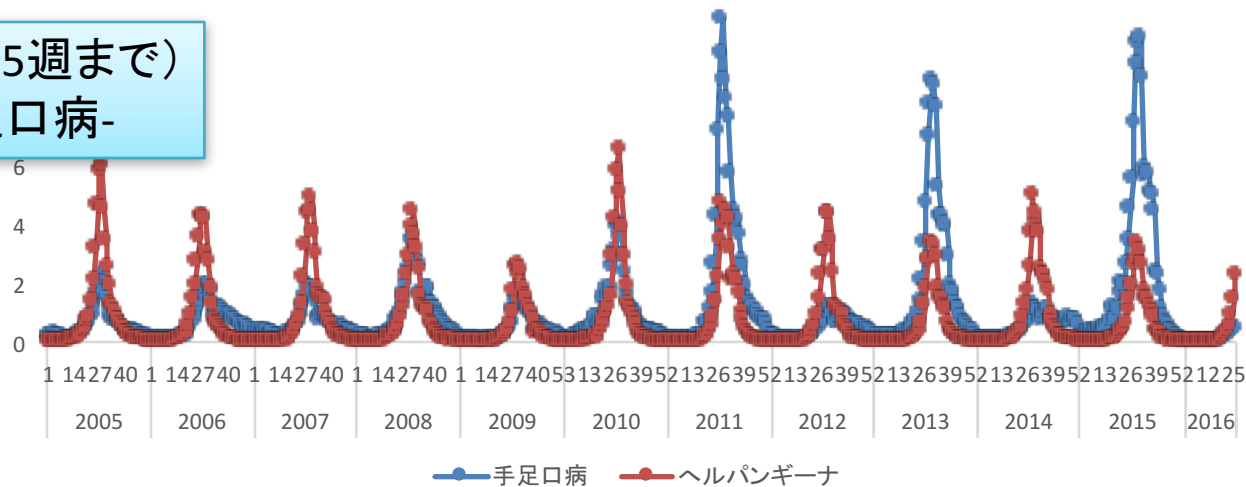
<http://focustaiwan.tw/news/asoc/201605170017.aspx>

病原体報告数



12

定点あたりの報告数(-25週まで) -ヘルパンギーナと手足口病-

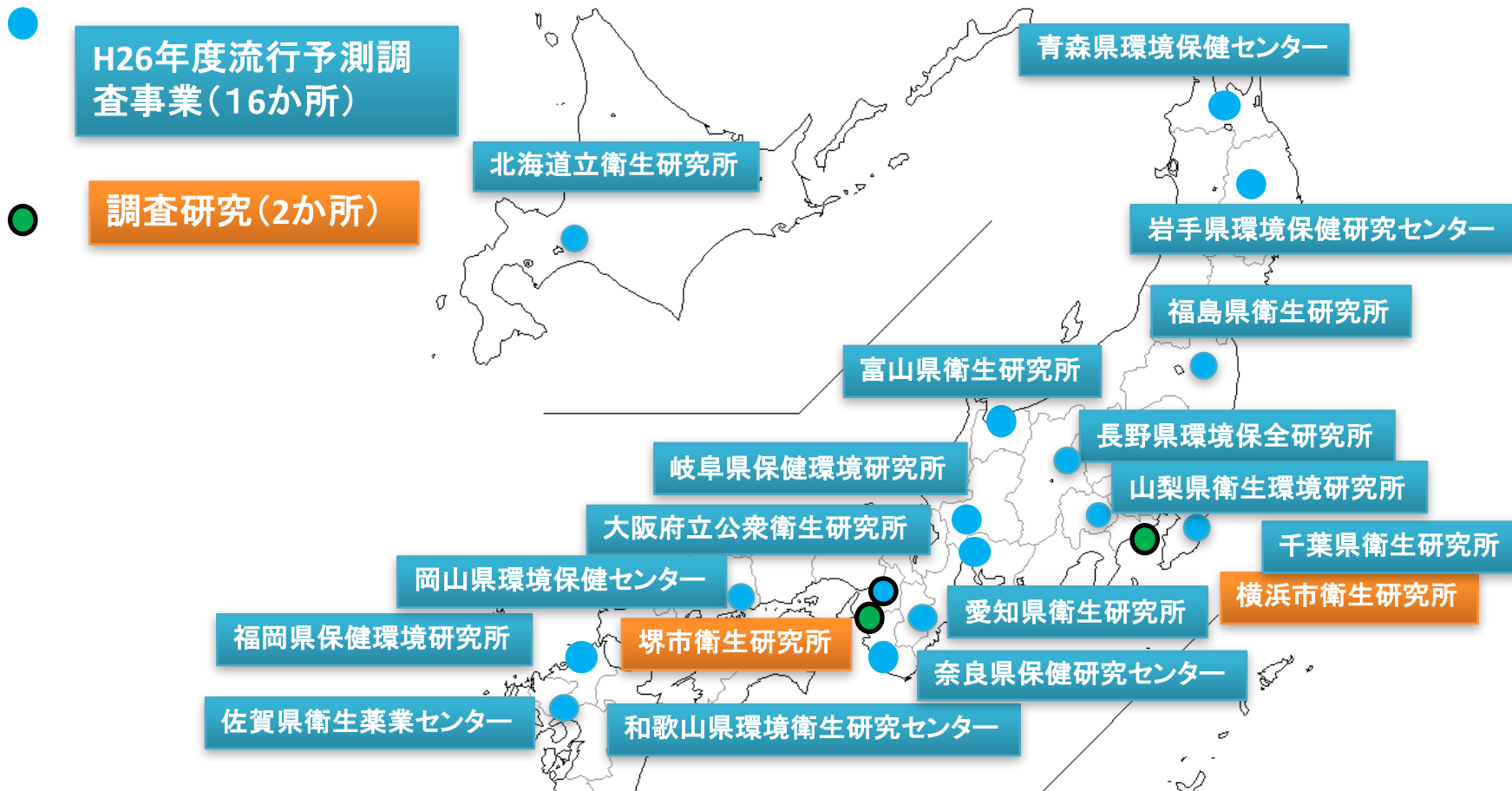


IDWRデータより作成
2016.07.12アクセス

2016.7.11現在の登録数 (年齢と血清型)																											
年齢	CA 10	CA 14	CA 16	CA 2	CA 4	CA 5	CA 6	CA 9	CB 1	CB 2	CB 3	CB 4	CB 5	E 16	E 18	E 25	E 3	E 30	E 6	E 9	EV NT	EV 71	HP eV	HP eV	HP eV	報告	
0				1	4	2	1		2	3	3		20	3	5					1	2	3	1	2	12	1	66
1	1	1		1	14	2	1	3	1				12		2	1					2	4	1	2	1		49
2	1		1		11			3	2		2	1	2		1	1						1		1		1	35
3	1			1	3	1	1	1					6													1	15
4					2			1	1		1		6									1			2		14
5					3					1			1				1					1	1		1		9
6	1												3									2					6
7													2				1										3
8													1		1												2
9															1												1
10								1											1								2
11																											
12																											
13																			1								1
14																											
15																									1		1
16																											
17															1												1
18																											
19																											
20																											
21																											
22																											
23																											
25													1														1
27																											
28																									1		1
29																											
31													1														1
32					1																				1		2
33																											
34																											
35																											
36																											
37								1																			1
計	4	1	1	3	38	5	6	9	5	5	5	2	60	4	10	2	2	2	1	4	12	3	5	19	3	211	

26周で比較すると昨年と比べ、手足口病の報告は少なめ。ヘルパンギーナはほぼ同じ時期の立ち上がり。

2016年度環境水サーベイランスのご協力を頂く地方衛生研究所



	H21 (2009)以前	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)
調査場所	1	2	2	4	13(8)**	19(14)	18(16)	18(16)
				大石班参加。 事業化準備	事業開始			

(*H25年度流行予測調査事業開始以降、事業参加衛研数)

平成28年度「地方衛生研究所における病原微生物検査に対する外部精度管理の導入と継続的实施に必要な事業体制の構築に関する研究」皆川班 2016. 7. 6

分担研究: 感染症発生動向調査におけるエンテロウイルス病原体検査に関わる外部精度調査(EQA)導入の研究

国立感染症研究所 吉田弘

研究協力者(予定)

北川和寛(福島県衛) 山下育孝(愛媛県衛環研) 高橋雅輝(岩手県環保研セ)
エンテロウイルスレファレンスセンターを中心(にお願いする予定)

研究の背景となるもの

エンテロウイルスに関わる5類定点把握疾患(小児科、基幹定点)

エンテロウイルスの検査体制に関するアンケート(H25年厚生科研費研究班)

5類小児科定点把握疾患に関する国内A-E地衛研におけるウイルス検出率

研究の目標

試行を通じた方法論のパッケージ提案

評価指標の提言